

# Market Watching

発表日: 2020年6月1日(月)

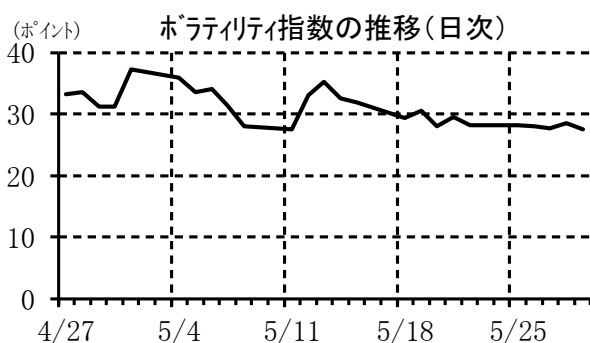
コロナで失速した景気は折り返し、焦点は折り返し後(マーケットウィークリー)  
～経済活動再開後の指標発表はまだ先だが、やはり気になる雇用の悪化度合い～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

## 【先週の市場動向】

### 先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
5月25日(月)	ドイツ: ifo景気動向指数 (5月)	79.5	79.0	74.3	ポイント
5月26日(火)	米国: S&P500インデックス住宅価格指数・20都市 (3月)	+3.9%	+3.4%	+3.5%	前年比
	米国: FHFA住宅価格指数 (3月)	+0.1%	+0.5%	+0.7%	前月比
	米国: 消費者信頼感指数 (5月)	86.6	87.0	86.9	ポイント
	米国: 新築住宅販売件数 (4月)	62.3	50.0	62.7	万件
	米国: ダラス連銀製造業活動指数 (5月)	▲49.2	▲62.0	▲73.7	ポイント
5月27日(水)	米国: リッチモンド連銀製造業指数 (5月)	▲27.0	▲40.0	▲53.0	ポイント
5月28日(木)	ドイツ: 消費者物価・速報値 (5月)	+0.6%	+0.7%	+0.9%	前年比
	米国: 実質GDP改定値 (1-3月期)	▲5.0%	▲4.8%	▲4.8%	前期比年率
	米国: 製造業受注 (4月) ・耐久財 ・非国防資本財 (除航空機)	▲17.2%	▲19.8%	▲15.3%	前月比
	米国: 新規失業保険申請件数 (5/23終了週)	2,123	25,750	25,073	千件
5月29日(金)	日本: 都区部消費者物価指数 (5月) ・総合 ・除生鮮食品	+0.4%	+0.1%	+0.2%	前年比
	日本: 労働力調査・失業率 (4月)	+0.2%	▲0.2%	▲0.1%	前年比
	日本: 一般職業紹介状況・有効求人倍率 (4月)	2.6%	2.7%	2.5%	
	日本: 一般職業紹介状況・有効求人倍率 (4月)	1.32倍	1.32倍	1.39倍	
	日本: 商業動態統計・小売業販売額 (4月)	▲13.7%	▲11.2%	▲4.7%	前年比
	日本: 鉱工業生産指数 (4月)	▲9.1%	▲5.4%	▲3.7%	前月比
	日本: 消費動向調査・消費者態度指数 (5月)	24.0	21.6	21.6	ポイント
	日本: 住宅着工戸数 (4月)	79.7	83.0	90.5	万戸
	ユーロ: 消費者物価指数速報値 (5月) ・総合 ・コア	+0.1%	+0.1%	+0.4%	前年比
	ユーロ: 消費者物価指数速報値 (5月) ・コア	+0.9%	+0.8%	+0.9%	前年比
	インド: 実質GDP (1-3月期)	+3.1%	+0.5%	+4.7%	前年比
	ブラジル: 実質GDP (1-3月期)	▲0.3%	▲0.3%	+1.7%	前年比
	米国: 個人所得支出統計 (4月) ・実質個人消費 ・PCEデフレタ	▲13.2%	▲12.3%	▲7.3%	前月比
米国: 個人所得支出統計 (4月) ・実質個人消費 ・PCEデフレタ	+0.5%	+0.5%	+1.3%	前年比	
米国: シカゴ地区PMI (5月)	32.3	40.0	35.4	ポイント	
5月30日(土)	—				
5月31日(日)	中国: PMI製造業景気指数 (5月)	50.6	51.0	50.8	ポイント



## 主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.653	▲0.7	▲4.1	▲194.9	0.174	0.413	1.136
日本	0.000	+1.0	+5.0	+10.0	-0.015	-0.024	-0.076
ドイツ	-0.447	+4.0	+4.8	▲26.8	-0.501	-0.478	-0.422
豪州	0.885	+1.8	▲3.4	▲59.8	0.906	0.895	1.024
株価							
NYダウ	25383.11	+3.8	+3.0	+1.0	24284	24002	26352
日経平均	21877.89	+7.3	+10.7	+4.2	20326	19937	21756
ユーロSTOXX50	3050.20	+5.0	+1.8	▲7.5	2913	2968	3394
上海総合	2852.35	+1.4	+1.1	▲2.1	2860	2863	2924
為替相場							
ドル/円	107.83	+0.2	+1.1	▲1.6	107.19	107.95	108.35
ユーロ/円	119.75	+2.1	+3.3	▲1.8	116.83	118.04	119.31
豪ドル/円	71.89	+2.2	+2.8	▲5.2	69.85	68.88	72.14
ユーロ/ドル	1.1101	+1.8	+2.1	▲0.3	1.090	1.094	1.101
商品市況							
WTI	35.49	+6.7	+135.7	▲39.7	26.51	28.72	46.11
金	1736.9	+0.1	+1.4	+35.6	1720	1665	1568

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (5/25~5/29) の金融市場は、情勢に大きな変化はなかったものの、経済統計などから景気の底入れと先行きの持ち直しに対する期待がやや強まり、株式市場は堅調に推移した。日本では、全国で緊急事態宣言が解除され、経済活動の正常化に向けた動きがより強まるとの期待が高まり、日経平均株価は2万2千円近くにまで上昇した。米中関係の緊張の高まりに対する懸念は残ったが、米国側が新たな対中貿易制裁を課すリスクは小さいとの見方から、経済への悪影響はそれほど大きくはないとの楽観的な見方に繋がった。

今週のマーケットは、米国で5月分のISMや雇用統計が発表され、経済活動再開後の景気の勢いに注目する市場にとって大きな指針となる。注目度が高い雇用統計は、5月も就業者数の大幅減少と失業率の記録的な上昇が予想されているものの、失業保険の受給者数は5/9終了週をピークに減少、失業率の参考指標となる受給者比率も、同週の17.1%をピークに、翌週には14.5%に低下しており、経済活動再開によってある程度雇用環境が改善に向かっていることは明らかだ。5月雇用統計では、こうした改善への動きは十分に反映されていない可能性が高いが (雇用統計の調査は毎月12日を含む週のため)、結果が悪くても、前日 (6/4) に発表される失業保険統計で改善傾向の継続が示されていれば、市場へのネガティブな影響はないだろう。一方、ISM景気指数では、景気回復の勢いの鍵を握るのは個人消費であるため、製造業よりも非製造業の方が重要度は高い。関連統計となるPMIサービス業景気指数は36.9ポイントと前月から10ポイント程度改善したが、水準は低い。中国では、経済活動再開後、一旦は急反発した経済統計も、その後伸び悩んでいる姿が確認されている。超高失業状態に陥っている米国も、一気にコロナ以前の状態に雇用が回復するとは考えにくく、サービス業景況感や失業保険受給者の回復が限定的であれば、経済活動再開後の景気の戻りに対する懸念は、今後株価の頭を抑える要因として意識されていこう。

## 【今週のマーケット環境】

## 今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
6月1日(月)	日本：法人企業統計（1-3月）・設備投資（除ソフト） ・経常利益	★	▲5.5%	▲4.8%	前年比
			—	▲4.6%	前年比
	日本：新車販売台数（5月）・乗用車	★	—	▲27.5%	前年比
	中国：財新PMI製造業景気指数（5月）	★★★★	49.8	49.4	ポイント
6月2日(火)	豪州：金融政策委員会	★	0.25%	0.25%	RBA政策金利誘導目標
	米国：自動車販売台数（5月）	★★	1,120	860	万台
6月3日(水)	豪州：実質GDP（1-3月期）	★	+2.0%	+2.2%	前年比
	ユーロ：失業率（4月）	★	8.2%	7.4%	
	米国：ADP雇用統計（5月）	★★★★	▲9,000	▲20,236	前月差、千人
	米国：ISM非製造業景気指数（5月）	★★★★	44.7	41.8	ポイント
6月4日(木)	カナダ：金融政策委員会	★	0.25%	0.25%	翌日物貸出金利
6月4日(木)	ユーロ：小売売上高（4月）	★	▲15.0%	▲11.2%	前月比
	ユーロ：ECB理事会・ECB主要政策金利	★★	0.00%	0.00%	
	・ECB預金ファシリティ金利	★★	▲0.50%	▲0.50%	
	・ラガルド総裁記者会見	★★★★			
米国：貿易収支（4月）		▲420	▲444	億ドル	
米国：新規失業保険申請件数（5/30終了週）	★★	1,800	2,123	千件	
6月5日(金)	日本：家計調査（4月）・全世帯実質消費支出	★★	▲14.2%	▲6.0%	前年比
	日本：景気動向指数（4月）・CI一致指数		▲7.4pt	▲5.2pt	前月差
	・CI先行指数		▲8.6pt	▲7.2t	前月差
	米国：雇用統計（5月）・非農業就業者数	★★★★	▲8,000	▲20,537	前月差、千人
・失業率	★★★★	19.7%	14.7%		
・時間あたり賃金	★★★★	+8.1%	+7.9%	前年比	
6月6日(土)	—				
6月7日(日)	中国：貿易統計（5月）・輸出	★★★★	▲6.4%	+3.5%	前年比
	・輸入	★★★★	▲5.8%	▲14.2%	前年比

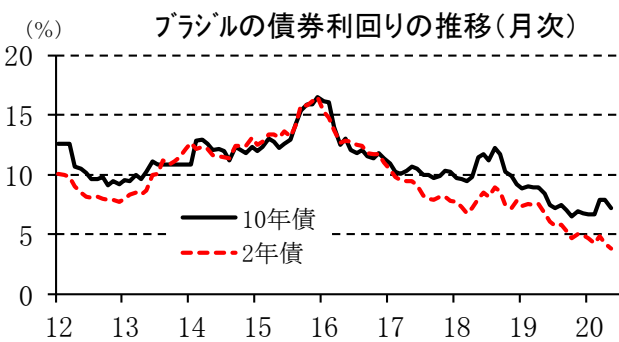
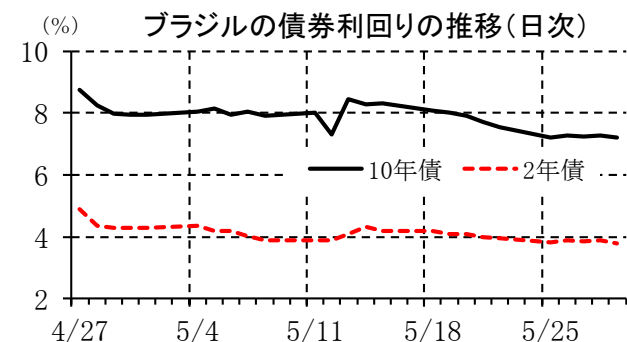
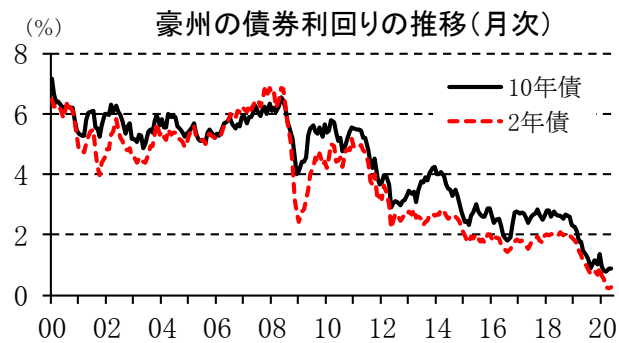
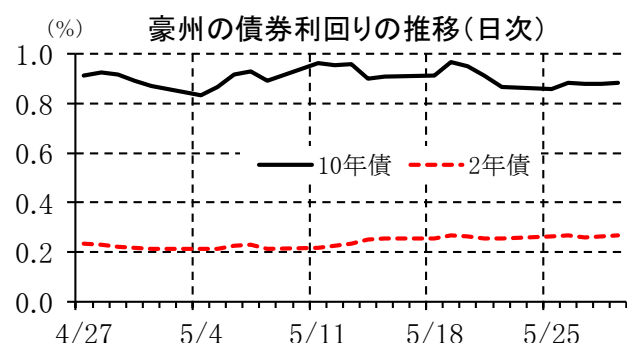
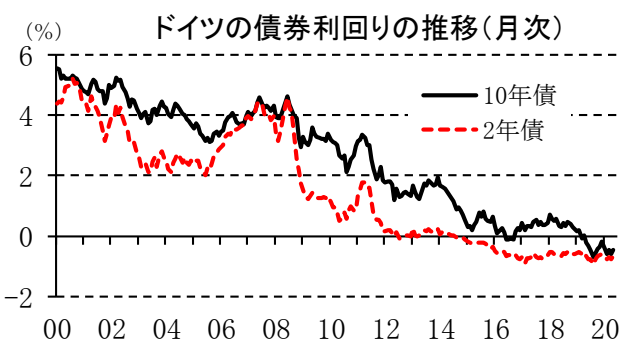
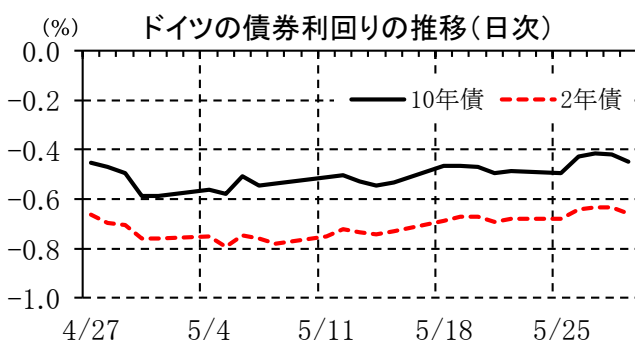
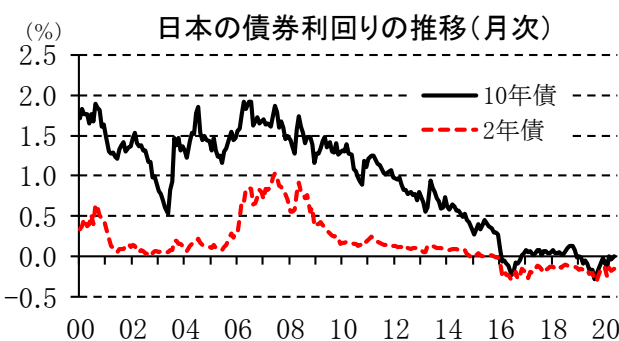
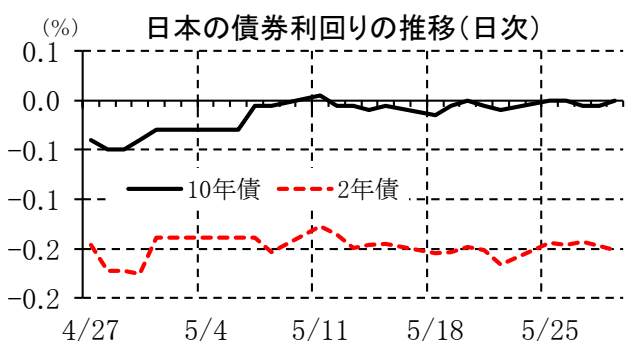
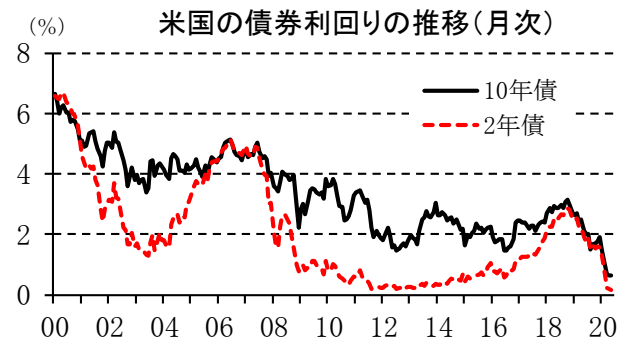
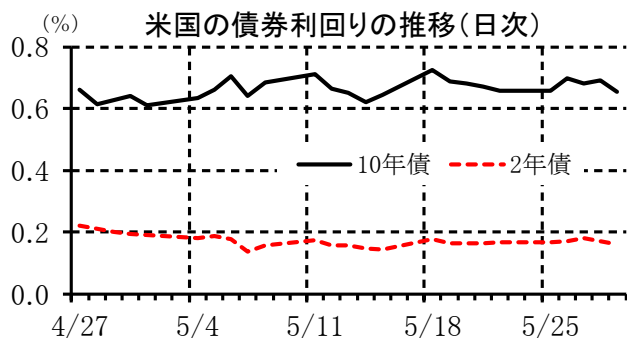
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

## その他の注目イベント・材料

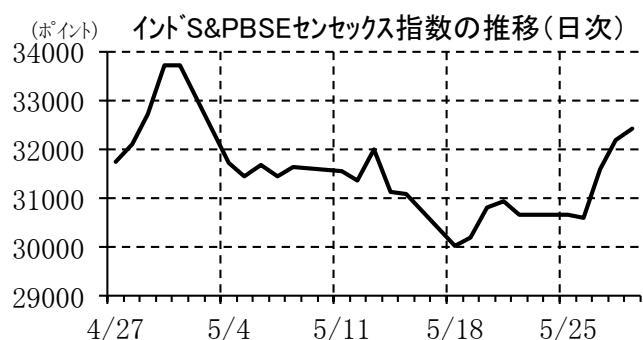
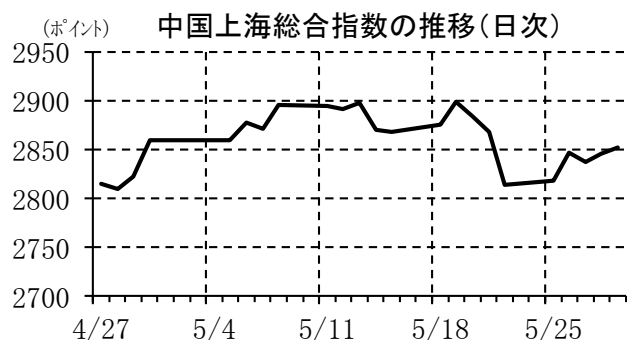
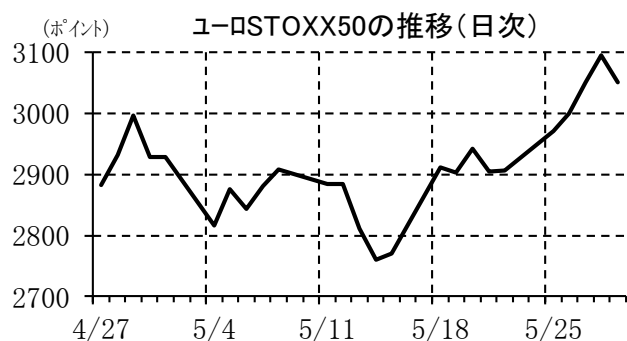
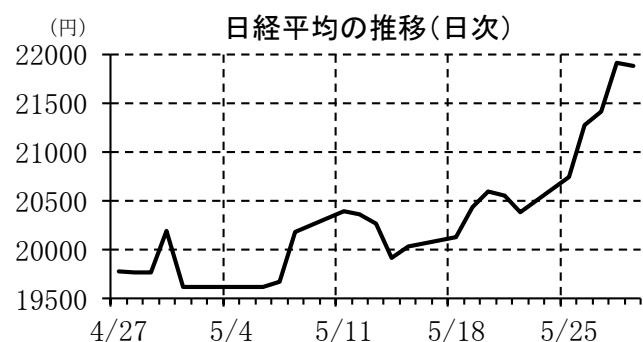
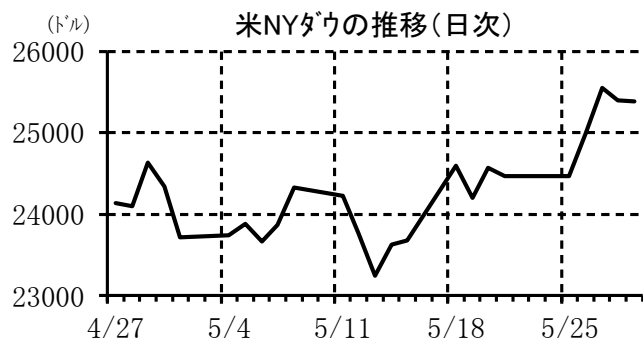
発表日	イベント	注目度	備考
6月1日(月)	英国：EUとの将来関係協議（6/1～）	★	
6月2日(火)	—		
6月3日(水)	—		
6月4日(木)	—		
6月5日(金)	—		
6月6日(土)	—		
6月7日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

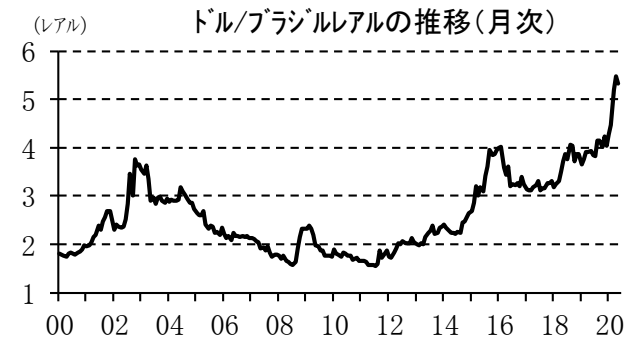
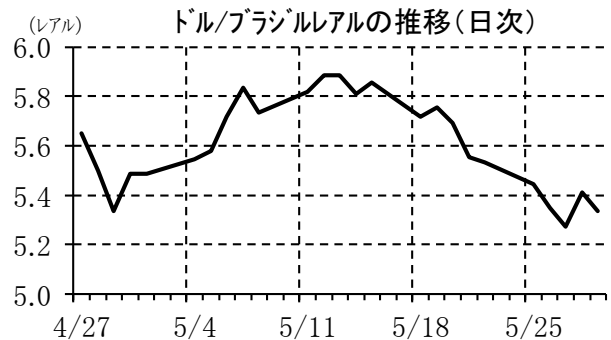
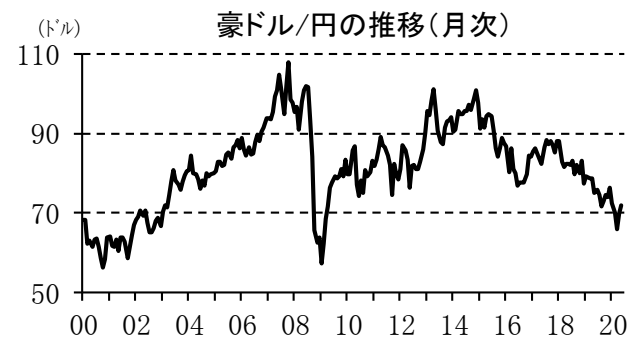
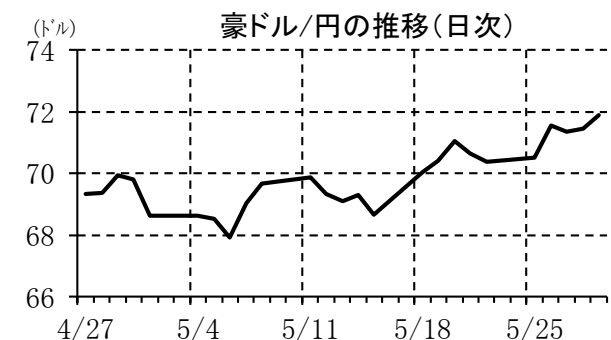
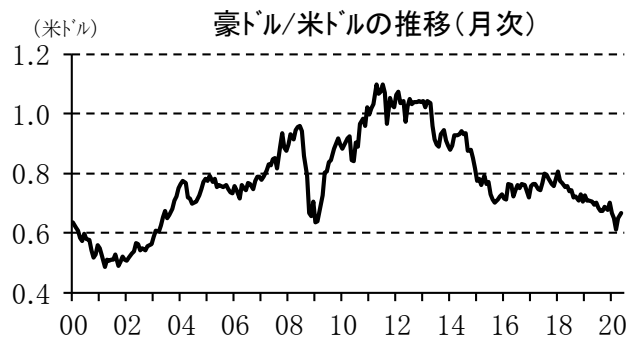
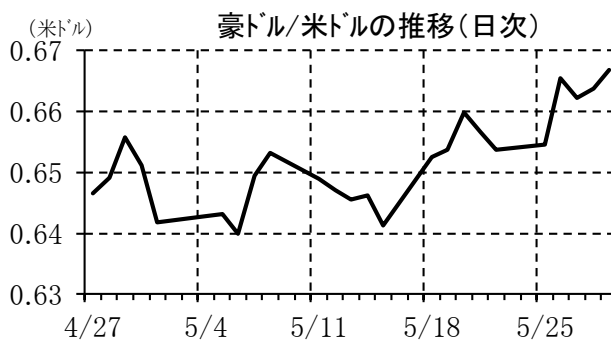
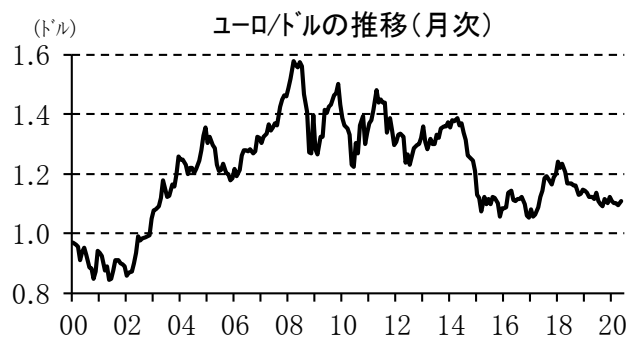
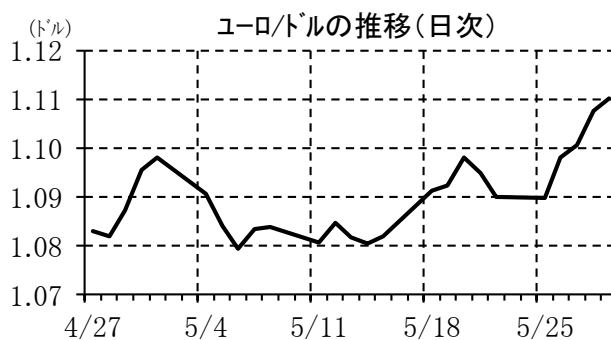
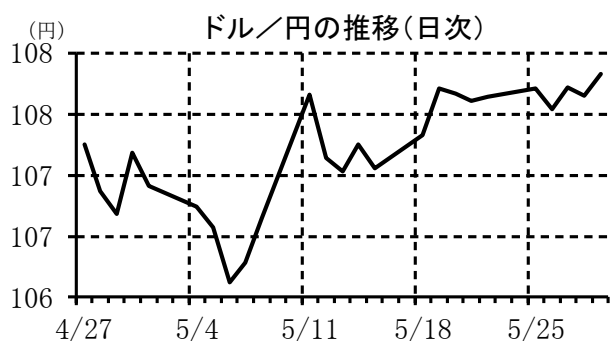
## 【債券利回り】



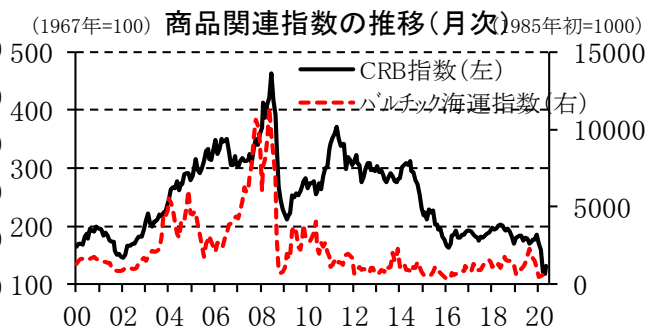
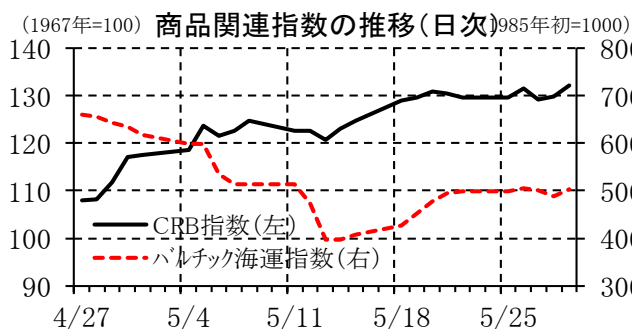
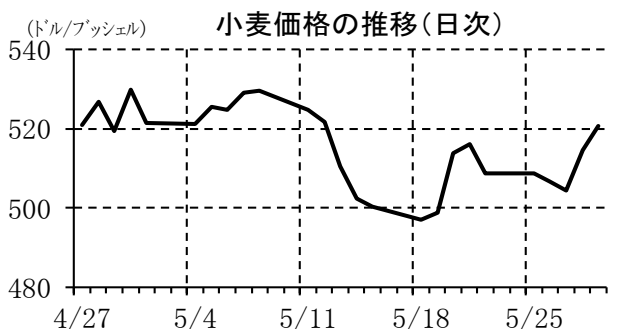
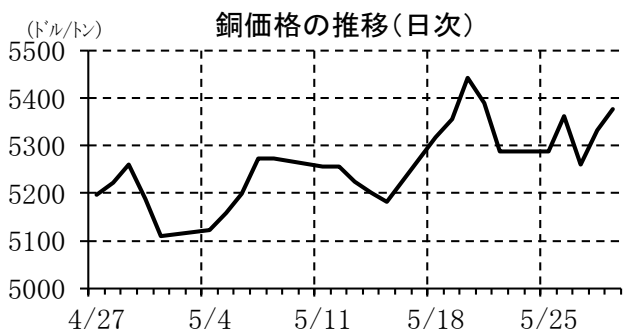
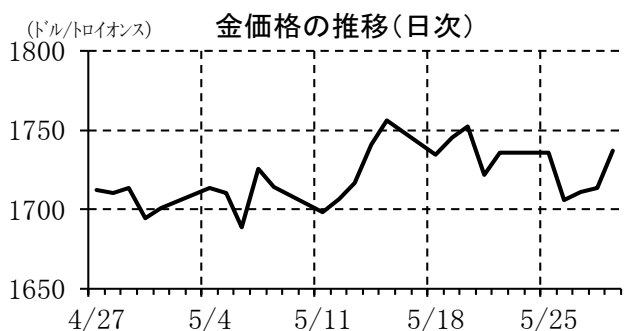
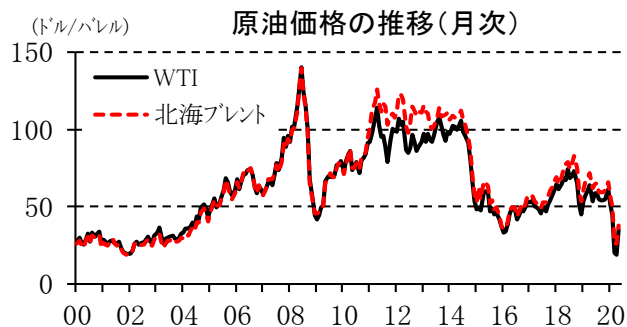
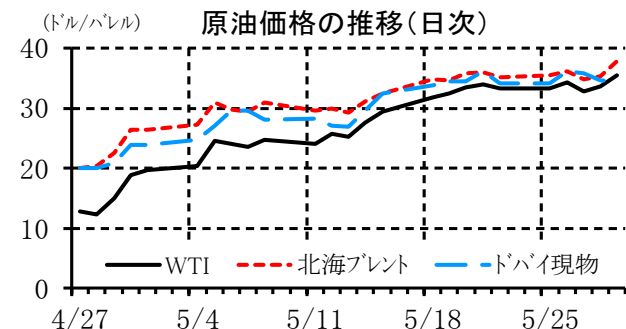
## 【株価指数】



## 【為替相場】



## 【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

